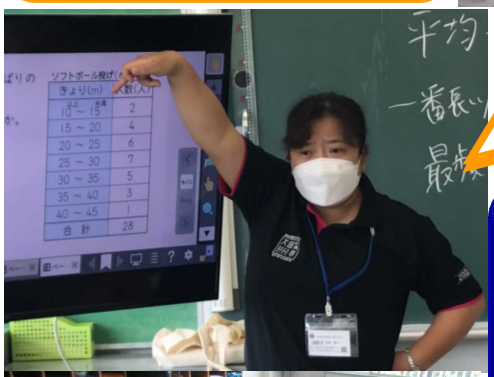
７月５日（火）第３回石上小乗り入れ授業　１４：０５～

６年算数
めあて　　度数分布表を作ろう

前時までの内容を振り返り、代表値の選択により、集団の持つ性質の見え方や、資料の活用のしかたが変わってくることへの導入。ここでは、平均値は３組が１位、最頻値では２組、最高値では１組となることを伝え、問題提起した。

ドットプロットを利用しての度数分布表の作り方

この授業ではさらに、階級の幅を変えることで、違った特徴が見えてくることを示すための準備を行った。



「以上」「未満」の意味を再確認するため、遊園地の乗り物の身長制限など、実生活に近い話題から、わかりやすく説明していた。

真剣に度数分布表を作る児童

無作為に並べられた資料から、階級ごとに整理して全体の特徴を捉える。手作業の不都合さや時間のかかる地道な作業を通して、それを整理したときの見やすさを十分に感じられることが予測される。また、今後利用されるであろう ICT の便利さや良さなどを実感する前の段階の準備の授業として、有効であったと考えられる。この後は、度数分布表から、さらに特徴を捉えやすいグラフなどを学習すると伝え、次の授業への課題とした。